

(仮称)仙南クリーンセンターに関すること

意見・質問・要望等

(仮称)仙南クリーンセンターの安全性について、工事前に環境影響評価をされているのか。その中でクリアされているのではないかと。
【野田生活センター】

当日の回答

建設前に1年かけてモニタリング調査を行っています。運用開始後も、測定結果は公表し続けることになっています。心配されている方が多いのではないかとということで、仙南地域広域行政事務組合に市民へしっかり周知するようお願いしています。

当局・議会回答

議員回答のとおり、建設前に、仙南地域広域行政事務組合において、(仮称)仙南クリーンセンター整備に係る生活環境影響調査を平成23年10月から平成24年9月まで実施し、生活環境影響調査結果について平成25年1月4日から2月4日まで縦覧を行っています。

また、仙南地域広域行政事務組合で2市7町全世帯に発行している「仙南広域エリアマガジン」平成28年4月号で、排ガス関連値について、法により規制されている値よりさらに厳しい自主規制値の設定等について周知する予定です。

なお、運転開始後は、排ガスの24時間監視と排ガス関連値が表示される「環境モニター」を毛萱トンネル入口付近の(仮称)仙南クリーンセンター敷地内に設置し、施設の運転状況を市民の方々が可視化できるようになる予定です。【生活環境課】

ふるさと納税に関すること

意見・質問・要望等

①角田市の「ふるさと納税」への取り組みについて伺いたい。【新丁三区区民会館】

②ふるさと納税について教えてほしい。【藤尾自治センター】

当日の回答

①インターネットでのクレジット決済を取り入れたり、返礼品にアイリスオーヤマの家電製品を加えたことなどから申し込みが急増しています。

やり方次第で伸びしろのある制度であり、当局には、積極的に取り組むよう提言しています。予算不足で実行できない事業等に大いに役立てるべきと思います。

②ふるさと納税については、平成26年度は300万円程度でしたが、平成27年度はインターネット決済を可能にしたことと、返礼品を農産物だけではなく、アイリスオーヤマの家電製品も加えたことにより、約1億円に増加となりました。

ただし、これを継続させるためには、家電製品でのリピーターはあまり望めないことから、今後の対策をもっと検討していかなければならないと思います。

当局・議会回答

取り組み状況については、議員回答のとおり平成27年10月16日から寄附者の利便性向上のため、クレジット決済を導入したことに伴い、業務の一部を専門業者に委託したことなどから事務の効率化が図られ、さらに家電製品をなど返礼品のラインナップを拡充したことにより、平成27年度は寄附件数及び寄附金額ともに大幅な増加となりました。今後はさらに、農産物・農産加工品等を中心に返礼品を充実させ、寄附金額の増収を図ります。【政策企画課】

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

永年、区長をして思うことは、行政区によって戸数のバラツキが甚だしい。市全体を見直し、分割・統合して平準化すべきと思う。【新丁三区区民会館】

当日の回答

消防団の一部からも、班編成と戸数の面から、行政区に関する意見が出ていますので、様々な角度から、現実的な検討をしていきます。

当局・議会回答

行政区域については、地理的・歴史的背景などもあることから、行政区域の変更については、区からの要望が必要と考えます。【政策企画課】

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

高齢者が増えているものの、老人会は減っている。地区のコミュニティ活動を高めようとするればそれなりに金もかかるので、市はもっと予算を割いてほしい。【新丁三区区民会館】

当日の回答

要望として承っておきます。

当局・議会回答

地域コミュニティ活動の低迷が金銭的な面だけでは無いと思われるので、その根本原因を探り、解決できるよう、コミュニティ活動の活性化を支援していきます。【政策企画課】

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

まち・ひと・しごと創生総合戦略の中の、次世代成長産業の育成支援に関連して、教育と育成という観点から、今から20年程前の高山市長時代に「角田宇宙少年団」が活動し、現在のロシアに海外渡航等の実績がある。平成28年4月に、宇宙関連施設のある6都市でつくる「銀河連邦」に角田市が加盟することを機会に、「角田市宇宙少年団」の再結成をしてはどうか。今でも、「日本宇宙少年団」が活動しており、全国140余り3千人の交流も期待できる。また、角田市にあるJAXAを最大限に生かし、ビジネスチャンスと捉えて、角田市民の所得を全国レベルに上げてほしい。【中島下区民会館】

当日の回答

大変、貴重なご意見ありがとうございます。要望として受け止め、議会でも検討しながら、当局と進めていきたいと思えます。

当局・議会回答

銀河連邦加盟により、角田市における宇宙少年団の再結成への移行も仄聞してます。また、JAXAとの連携協力協定を締結したことより、子どもたちへの宇宙教育や宇宙に関する観光内容の充実を図っていきます。【政策企画課】

リバーサイドマラソンに関すること

意見・質問・要望等

リバーサイドマラソンのコースが変わり、阿武隈川の堤防を走るコースになった。土手の両側から応援でき、走る人の意気込みも良くなり、応援する人も大変感動した。そこで、場所ごとの通過時間を示したチラシなどを配ってもらえないか。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

応援の方のために通過時間についての情報を提供する方向で調整いたします。【生涯学習課】

下水道に関すること

意見・質問・要望等

小田川の件について詳しく説明してほしい。野田地区の水は阿武隈川に直接排水するのではなく、小田川へ排水するということなのか。【野田生活センター】

当日の回答

排水施設は小田川に排出するなど問題があり、しっかりした水路を作るなどを含め、議会としても皆さんの意見を聞きながら検討していきます。

当局・議会回答

野田地区は小田川整備計画において小田川の間接流入域として位置づけられていることから、雨水排水先については、宮城県管理である小田川に排水する計画で既設樋管を利用するものです。河川計画水位が野田排水区内の地盤の高さよりも高いため、小田川の水位が高い場合は自然流下排水ができなくなるため、ポンプ排水により強制排水するものです。現在、野田排水区雨水ポンプ場建設に着手しており、継続して雨水幹線管渠の整備及び雨水調整池建設を行う予定です。【下水道課】

下水道に関すること

意見・質問・要望等

下水道の整備において、袋小路の私道の場合、住民全戸の同意がないとできない。市でも積極的に同意を求めるように動いてほしい。【野田生活センター】

当日の回答

全戸が同意し、全戸が下水に接続することが前提になります。私道分の工事は市の負担ですが、各戸への接続工事は個人負担になります。市として、今度、どのような年次計画で進めていくのか明確にするように求めています。

当局・議会回答

私道路内の下水道施設整備については、私道路内下水道施設設置申請が必要で、私有地に公共施設を設置する上から関係者全員の承諾が必要となります。私道路の接する公道での下水道工事実施時期に私道路内下水道施設整備についても説明を行い、関係者からの相談等については随時対応していますが、今後も同様に対応していきます。【下水道課】

河川に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月に小田川が増水し、通行止めになっている。小田川の除草は、小田地区の方が行っているが、大島橋の下流は、整備がなっていない。草がボウボウで水が流れているかどうか分からない状況だ。除草をすれば流れるようになると思うが、除草はしないのか。【中島区公民館】

当日の回答

大島橋の下流は、国土交通省の管理ですので、平成27年12月24日に大河原土木事務所河川砂防第二班の職員3人と市役所土木課長、係長、小田の4人の区長とで現場を調査し、県の職員が詳しく測量して結果を市土木課長へ報告することになっています。

当局・議会回答

議員回答の内容は、小田橋から沼南橋付近までの土砂浚渫のことと思われます。
今回質問されている、大島橋下流の除草の件については、国土交通省の管理となりますので、引き続き要望していきます。【土木課】

角田市民ゴルフ場に関すること

意見・質問・要望等

市民ゴルフ場を利用している方は、市外の人の方が多い。なぜ毎年来ているのか聞くと、歩くことが健康に良いからだそうだ。スムーズに歩けるように電動キャリーを導入してほしい。【中島区公民館】

当日の回答

導入について、即答できませんが、要望があったことを当局に伝えます。

当局・議会回答

ゴルフ場では、プレイヤーの負荷軽減を目的に自動追尾式のロボットカート平成28年4月より本格導入予定ですので、ご活用いただきたいと思っております。【土木課】

観光・イベントに関すること

意見・質問・要望等

牟宇姫ひなまつりのイベントをやっているが、平成27年度からひなまつりの主催を協力者の方で立ち上げてほしいと言われ、市の方では協力しないと聞いたが、市の方でも協力して、まつりを盛り上げてほしい。【中島区公民館】

当日の回答

牟宇姫ひなまつりは、数年前から吊るし飾りなどボランティアの方々の協力を得て、街なかを華やかに飾りながら、手作りのお祭りを展開しています。

また、最近では、丸森町、村田町、大河原町など近隣の町とも広域連携して、ひなまつりのイベントを盛り上げようとしています。

市の方針として、ボランティアの皆さんがより関わりやすいように、ボランティアの皆さんができる所はお任せし、市でやるべきところは市で進めるとのことだと思います。

決して市が協力しないということではないと思いますので、今後ともご協力の程、よろしく申し上げます。

当局・議会回答

かくだ牟宇姫ひなまつりは、震災後に郷土資料館の雛人形展の代替として始まりましたが、資料館が復旧後も毎年開催され、今回で5回目を迎えました。

今回から市、商工会、観光物産協会、商店会など関係者で組織する実行委員会を設置し、事務局を商工観光課においています。

これは市民主体のお祭りにしていこうという趣旨であり、市が協力しないということではありません。今後とも実行委員会と共にお祭りを盛り上げていきますので、市民の皆様も積極的に関わっていただきたいと思っております。【商工観光課】

観光・イベントに関すること

意見・質問・要望等

交流人口100万人について、以前、花火大会があったと思うが、復活できないか。財政的な理由でやめたと思うが、例えば、企業に加えて市民から賛助金を募るなどの方法もある。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

角田市民花火大会については、平成14年度まで毎年盛大に開催され、平成15～17年度は中止、平成18年度に再開され3年間続いたものの平成21年度からは再び中止されたままとなっています。

開催には多大な費用と運営のためのスタッフの確保が必要となりますが、費用については市の負担金と企業等からの協賛金で賄われていました。

復活のためには、費用と人材をどのように確保するか検討しなければなりません。【商工観光課】

観光・イベントに関すること

意見・質問・要望等

商店街の空き店舗を若い経営者へ貸し出すことはどうか。また仙台で行っているように、道路片側を一方通行にし、空いた片側をパーキングにするなど、車社会に対応したアクセスしやすい商店街づくりを目指してほしい。商店街の各店主はその道のスペシャリストであり、お客様にとってもメリットは大きい。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

大変貴重なご意見であり、参考とさせていただきます。今後の商店街のあり方の一案として検討させていただきます。

当局・議会回答

市においても「中心市街地活性化基本計画」を策定するなど、商店街の活性化については取り組んでいるところですが、おぼつかないのが現状です。

また、商店街の空き店舗活用などは、最近「リノベーションまちづくり」などが話題になっています。

それにつけても当該不動産の所有者の意向が最優先となりますので、商工会などとも連携しながら関係者との話し合いの場が必要と考えています。【商工観光課】

観光案内板に関すること

意見・質問・要望等

角田市に転居してきた人に、角田市を紹介しようと思い、郷土資料館を探したが、案内板がなくて場所が分からなかった。郷土資料館のみならず、市内に案内板が不足しているのではないか。【中島区公民館】

当日の回答

案内板の不足については前から指摘を受けています。そこで現在、商工観光課で、市全体の案内板計画を立てており、順次設置していく予定です。

当局・議会回答

平成27年度において、街なか案内を中心にサイン計画を策定いたしました。
平成28年度以降、この計画に基づき優先順位をつけて案内板等を設置していく予定にしています。【商工観光課】

観光案内板に関すること

意見・質問・要望等

丸森町には、高速道路の看板はあるが、角田市には無いのはなぜか。【中島区公民館】

当日の回答

当局に伝えます。

当局・議会回答

高速道路までの案内標識設置箇所は、幹線道路となっている国道や県道に看板を設置することが有効と考えられます。市内にも数箇所山元インターチェンジへの案内標識が設置してありますが、設置箇所数の増については、管理者である大河原土木事務所に要望していきます。【土木課】

意見・質問・要望等

①継続調査事項というのが多い。これらが最終的にどうなったのか、どうなるのか。【野田生活センター】

②政策を立てても、やらなければ何にもならない。議会報告会の報告を見ると、継続審議ばかりで先延ばししている。期限を決めて取り組んでほしい。また、去年の藤尾地区の課題についての結果を報告してほしい。去年の課題が先延ばしされて、継続審議になっている。【藤尾自治センター】

③報告の中の継続調査事項について、具体的な進捗状況やいつまで、誰が取り組むのかなど分かり易く報告いただきたい。【小田自治センター】

当日の回答

①除融雪については、対応していただく業者の数を増やすこと、歩道を除雪する機械を導入するなど、成果にはなっていると思いますが、地域のボランティアの方をお願いするしくみの構築については時間がかかるなど、1年では解決できないものについては継続調査事項としています。その他の項目についても、1年で解決できるようなものではないので、継続調査事項としています。

②継続審議の中には、一部ですができることから実施しているものもあります。完全に解決していないので、継続審議にしているところもあるので、ご理解いただきたいと思います。なお、できるだけ期限を決めて取り組むよう要望していきます。

③持ち帰り検討します。

当局・議会回答

議会報告会でいただいた皆様のご意見等については、各常任委員会や議会運営委員会等でさらに深く掘り下げ調査・研究を重ね、そのうち重点要望事項については、市長に要望しています。

議会報告会でいただいた意見については、市の担当課に伝えてありますが、市としてやらなければいけない項目であっても、優先順位や財政状況により、すぐに対応をできずにいる項目が多数あります。

議会に対するご意見については、各常任委員会や議会運営委員会、議会改革検討会議で調査・研究し、その成果を次回の議会報告会で報告させていただきます。

今後、皆様からいただいたご意見等について、市として議会としてできることなのか、できるとしたら、どの程度時間を要するのか等について分かりやすく市民の皆さんにお示しできるよう、議会報告会のあり方や議会報告会報告書の作成の仕方も含めて検討していきます。

意見・質問・要望等

市民からの質問に対して、議会や当局から回答があるが、的外れの回答などもあり、誠意が感じられない内容もある。よく吟味した回答を望む。また、議会や当局で、よく精査して報告書の作成を願う。【中島下区民会館】

当日の回答

議会としても反省するところが多々あります。当局にも伝えて、次回の報告書から改善していきます。

当局・議会回答

当局には、回答をもらう際に添書にその旨を記載し伝えました。議会においては、議会報告会のあり方や報告書の作成の仕方も含めて検討していきます。

旧角田女子高跡地利用に関すること

意見・質問・要望等

①旧角田女子高跡地の払い下げを要望してはどうか。【中島区公民館】

②旧角田女子高跡地の利用方法として、介護施設とするのはどうか。県の所有となっていることは承知しているが、中長期的な視点に立ち活用方法を市として働きかけを行ってほしい。【東田町公民館】

③ 中島下・新中島北地区には公園がない。お金がない中で作れとは言わないが、子ども達の遊び場の確保の面から、旧角田女子高のグラウンドを使えるよう県と協議してもらえないか。旧角田女子高については、除染した土のうが埋設されているので、県と協議して、セシウムの値を定期的に測定し、利用者や地域住民に知らせるなど安全面の周知も必要だ。

また、中島保育所のグラウンドを貸してもらえないかと交渉したが、衛生面などの諸般の事情で断られた経緯もある。

近くに使い勝手のいい施設がありながら、利用できないのは理不尽である。県との協議も含めて、市当局で対策を講じてほしい。【中島下区民会館】

当日の回答

①当局に伝えます。

②県に対してどのような方向で検討しているのか当局を通じて確認を求めます。あれだけ広大な土地と、校舎跡地が再利用されないことは勿体ないことであり、地域の安全管理上も好ましくないと認識しています。

③要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

この件につきましては、現在も施設の一部を角田高校の運動部の生徒がクラブ活動などで使用しているとのこと。平成26年度、今後のことについて県教育委員会と角田高校に問い合わせたところ、学校施設として利用しているので未定とのことでした。市としては、継続して県との連絡を密にし、方向性を見出していきたいと考えています。【政策企画課】

空き家対策に関すること

意見・質問・要望等

空き家対策について、旧我妻写場の近くにある元カラオケ屋の店舗が、大分傷んでいて危険である。人の往来も多いので、建物を撤去してもらいたい。【中島区公民館】

当日の回答

当局でも危険な建物であることは承知しており、何度か仙台市の所有者の方にも直接お願いしていますが、なかなか応じていただけない状況のようです。今後も継続して、所有者の方にお願ひし、早急に対応していただくよう要望します。

当局・議会回答

空き家等の対策については、「空家等対策の推進に関する特別措置法」により、「第一義的には空家等の所有者等が自らの責任により的確に対応することが前提」となっています。議員回答のとおり、現在、空き家の解体について、所有者の方と話し合っています。【生活環境課】

景観に関すること

意見・質問・要望等

東町花の会が解散することになった。花壇の継続を教育委員会に要望しているが、結論が出ていない。
皆さんのアイデアが無いか考えてほしい。このままだと辞めるしかないと思う。【中島区公民館】

当日の回答

要望があったことを、当局に伝えます。

当局・議会回答

地元の東町行政区において区内で対応できないか調整を図っていただきましたが、水遣りや除草などに大変な労力がかかることなどから受け皿が見つからず断念されておられます。

すばらしい角田を創る協議会を通して、当該花壇の管理団体を募集する方法も考えられますが、他の花壇づくり団体は各自の花壇づくりが精一杯の感があります。

行政が直接、花壇づくりを行うのは費用対効果の面から困難な状況になっています。

何か策はないのか関係者で話し合っているところです。【生涯学習課】

雇用促進住宅に関すること

意見・質問・要望等

雇用促進住宅の入居者が、80世帯中、現在25世帯くらいいる。以前閉鎖することとなっていたが、東日本大震災後に、みなし仮設住宅として入居している。

平成27年秋に塗装や雨漏りの修繕を行ったが、無駄なことをやっているのではないのか。今後の雇用促進住宅の使用計画を調査してほしい。【中島区公民館】

当日の回答

平成33年度で全世帯退去の予定になっているはずですが、なお、当局に確認します。

当局・議会回答

雇用促進住宅は、平成20年に入居者の退去を促進する取り組みを実施し、平成33年度までに廃止する方針となっていました。

しかし、震災後、被災者を支援するため、この取り組みを平成27年3月まで中断(東日本大震災の被災者に限り、平成28年3月まで)しました。

平成26年12月、雇用促進住宅を管理している独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(以下「機構」という。)から市に対して当該住宅を市で取得しないかとの打診がありました。市では検討の結果、耐震性能が乏しく、耐震性に問題があるなど取得しても改修費用が多額になるとして取得しない旨、回答しました。

そのため、機構では、平成27年12月末までに入居者への説明会を経て、平成28年度～平成29年度に民間売却の交渉・入札を行うとしています。

今後の見通しは次のとおり。

→売却成立:家賃等条件は現状維持のまま、継続して最低10年間入居可能。

→売却不成立:平成29年10月頃～退去説明会、平成30年度～平成31年度

【商工観光課】

市営住宅に関すること

意見・質問・要望等

①中島住宅をいつまでも放置せず、撤去するなら早く撤去した方がよいのではないかと。計画があるとは思いますが、早めに対処してほしい。【中島区公民館】

②中島住宅を有効活用してほしい。【藤尾自治センター】

当日の回答

①当局に伝えます。

②要望として、当局に伝えます。

当局・議会回答

第5次長期総合計画実施計画により公営住宅の整備事業を計画している。今後、政策企画課等と話し合い、市営住宅の敷地の余剰分についての有効活用を検討していきます。【建築住宅課】

自治センターに関すること

意見・質問・要望等 市民センター北側の通路や駐車場を舗装するということは、自治センターはすぐには壊さないということか。市の幹部からは、将来角田保育所を移転して駐車場を広くし、同時に自治センターを代替施設に移すとの話を聞いている。【新丁三区区民会館】

当日の回答 現在は利用状況を見ているところなので、取り壊しについては、結論は出ていません。自治センターの代替施設の件は、検討案の一つということかと思えます。

当局・議会回答 市民センター北側通路・駐車場整備については、当初から整備計画に盛り込まれているものです。
平成26年6月の角田市議会定例会において、市民センター駐車場の拡張整備に係る補正予算(案)の審議の中で「多額の財政支出になること」や「角田自治センターを含めた近隣公有地の利活用を図るべき」という議員の意見を受け、再検討を行った結果、既存の公共施設用地等を最大限に活用することを前提とした市民センター駐車場の全体計画を定めました。その中の具体的な検討項目として、移転を計画している角田保育所の用地の利活用や、老朽化が著しく大規模改修が必要な角田自治センターの用地の利活用などを取り上げており、平成30年度の角田保育所の移転を考慮し検討していきます。【生涯学習課】

自治センターに関すること

意見・質問・要望等 高齢者や女性、身障者などが気軽に利用できる施設は、今後ますます必要になる。角田自治センターには洋式便器がなく、床も木製ではないなど、公民館の機能としては不満が残る。地域のコミュニティの場として、利用者に親切な施設のあり方を考えてもらいたい。【新丁三区区民会館】

当日の回答 要望として承ります。

当局・議会回答 角田自治センターを大規模改修して残すことになった時にご指摘のあった内容を考慮していきます。【生涯学習課】

自治センターに関すること

意見・質問・要望等

①角田自治センターの建物を解体する話は聞いているが、問題となっているのは駐車場の確保だと思う。駐車場は、かくだ田園ホールを使い始めて、どのような状況になっているか。かくだ田園ホールが満杯になったことが何回かあって、どれだけ駐車場が満杯になったのか、調査したことがあるのか。

駐車場が間に合うという結論が出たと思うが、具体的な方針を示してほしい。【中島区公民館】

②角田自治センターは利用者にとって大変重宝な施設だが、取り壊しについて、現在、どのような状況にあるのか。【新丁三区区民会館】

③角田自治センターの継続利用を、平成30年度まで続けてください。いろんなことで利用されている方が多いので、お願いします。【中島区公民館】

当日の回答

①角田自治センターの機能を市民センターに移して、現角田自治センターを解体し、跡地を市民センターの駐車場として利用するのが、ひとつの考え方です。今のところ平成30年度までは残す予定です。各イベントにおいての具体的な駐車場の混み具合などの実績は市民センターで把握していると思いますが、どれだけ満杯になったかは未確認です。

利用状況や角田保育所跡地の利用法も踏まえて、角田自治センターの解体については、再検討するよう要望があったことを当局に要望します。

②角田市市民センター・角田自治センターの利用状況と、駐車スペースの充足状態など、推移を調査中とのこと。取り壊しについては、結論は出ていません。

③当局に伝えます。

当局・議会回答

平成27年度において、かくだ田園ホールが満員になったのは5回程あります。その際には、常設の駐車場(約300台)、角田中央広場及び旧健康センター跡地の臨時駐車場(約100台)のほか、角田中学校校庭東側の牛館寄付受納地やバス輸送による市役所や角田駅の駐車場の代替利用により、しのいでいる状況となっています。

また、市民センターと角田自治センターの利用状況や駐車場の利用状況を見ながら、さらに平成30年度に移転を計画している角田保育所との状況も考慮しながら、角田自治センターを解体して市民センター内に機能移転するのか、角田自治センターを大規模改修して存続させるのか検討していきます。【生涯学習課】

自治センターに関すること

意見・質問・要望等

角田自治センターの看板がないがどうなっているのか。また、角田自治センターについては、今後どうなるのか。【中島下区民会館】

当日の回答

当局に伝えます。

当局・議会回答

角田自治センター入口に施設名を掲げておりますが、その他には表示がありませんので、市民センター入口配置図等で角田自治センターの場所も示していきます。【生涯学習課】

除融雪に関すること

意見・質問・要望等

除融雪について、融雪剤をストックし、地域の方に子ども達が通学する前に散布してください、と市の方からお願いがないものか。【野田生活センター】

当日の回答

持ち帰り検討します。

当局・議会回答

融雪剤については、冬季間ストックしており市道への散布を地域の方にお願ひしています。通学路についても同様に協力いただける方をお知らせいただければ、融雪剤を配布します。【土木課】

除融雪に関すること

意見・質問・要望等

①西仲町で除雪機の台数が不足して不便だ。リースで十数台増設するので申請してほしいと土木課から昨年話しがあったが、その後担当課から何もコンタクトがないが、その後どうなったのか。【街なか交流サロン「ひだまり」】

②除雪機の運用基準を明確にしてほしい。小・中学生の通学路の安全確保の観点から、学校の用務員だけでなく、市民も使えるようにはできないのか。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

①毎年、同様のお声を承りながら申し訳ありません。除雪機の増設要望として承り当局へ伝達致します。

②運用基準については把握できておりません。担当課に確認を致します。

当局・議会回答

市では「角田市歩道等除雪活動支援小型除雪機械の試験的導入に係る貸付要領」を設置し、地域住民等で組織する団体等(個人はNG)が、自主的に歩道等(通学路等)の除雪を行う場合に小型除雪機械を貸付しており、今年度は校長会で調整のうえ市内小・中学校へ4台の貸し出しを行っています。地域の方(団体)に貸し出しすることも可能ですが、貸し出しできる台数には費用対効果の関係から限度がありますので、西仲町における除雪機貸与の件につきましては、角田小学校や角田中学校との除雪エリアや降雪量等を踏まえながら、もう数年様子を見ていくこととしました。

また、平成28年3月10日にその旨を質問者へ説明しております。
【土木課】

小・中学校に関すること

意見・質問・要望等

広報かくだについて、年中行事・イベント・ごみの分別方法など、中身は情報満載で充実している。これを学校の教材として使用できないか。

また、角田市の様々な行事のポスターを学校の廊下に掲載してはどうか。それにより、子ども達は角田市の素晴らしいところを理解し感じて、ゆくゆくは交流人口増加にもつながるのではないか。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

学校ではNIE教育として、新聞などを取り上げ教材として活用しており、広報かくだもそのひとつと考えております。

また、行事ポスターをできるだけ掲示しております。【教育総務課】

職員に関すること

意見・質問・要望等

角田市から初めてプロ野球選手が誕生したことから、健康のまちとして、スポーツを中心としたまちづくりをしたらどうか。全国大会で活躍したバドミントンの選手もいたが、職員の採用もそのような市民から採用してはどうか。【中島区公民館】

当日の回答

要望があったことを、当局に伝えます。

当局・議会回答

公務員である以上、採用においては、地方公務員法が要請している競争試験及び選考による採用となることから、スポーツ等だけができることをもっての採用は難しいものがあります。もちろん、競争試験をパスし、その上での特技をもっているとする方が、選考対象となった場合には、そのことを含め人柄などをよく見ての採用を引き続き堅持していきます。【総務課】

秘書広報室において、そうした方々を「郷土の誉」として顕彰しており、対外的に本市の知名度を上げることにより、有能な応募者が増えることを期待しています。【政策企画課】

水路に関すること

意見・質問・要望等

第9回議会報告会で出た課題のNo76野田前用悪水路改良工事については、どうなっているのか。【野田生活センター】

当日の回答

水路については土地改良区と相談しながらやるという回答です。現在の状況を当局に確認し、連絡します。

当局・議会回答

災害等の発生で対応が遅れていますが、随時緊急性の高いところから部分的に改修を行いたい考えています。下水道の雨水計画の事業も予定されていますので、維持的な対応になりますがご理解をお願いします。【農政課】

水路に関すること

意見・質問・要望等

水路の関係で住宅の基礎がずれていく。屋敷周りだけでも土留めの対応をしてもらえないものか。【野田生活センター】

当日の回答

要望として承ります。

当局・議会回答

現地の確認をいたしました。ご指摘のとおり水路の法面が洗掘されており、回りに影響がでていますので、個人の財産の部分には手をつけられませんが、早急に水路法面の補修を行いたいと考えています。

側溝に関すること

意見・質問・要望等

裏町地区の側溝整備工事について、車庫の出入り口が未整備で、出入りに苦慮している。出入口を優先して整備すべきではないのか。西側の側溝も未整備なので、整備を急いでほしい。【中島区公民館】

当日の回答

裏町地区の側溝整備工事については、年次計画により順次進めています。ご指摘の箇所も年次計画に入っており、いずれは整備いたします。優先順位については、地元の行政区長と相談しながら決めていますので、ご理解ください。

当局・議会回答

議員回答のとおりです。【土木課】

側溝に関すること

意見・質問・要望等

震災後の復旧工事の中で、側溝そのものと側溝の蓋が曲がっており、車が蓋を踏むたび起こす音が近隣のストレスとなっている。またマンホールの蓋のガタつきがある箇所もあり、改善してほしい。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

当局に早急に対処するよう伝えます。

当局・議会回答

ご質問の箇所は、市道仲町線と思われます。側溝の補修箇所については、行政区長と立会いを行いました。今後、補修いたします。【土木課】

地域医療・救急体制に関すること

意見・質問・要望等

先日、あるお宅に救急車が来ており、30分以上停まっていた。搬送先を探していたと思うが、高齢化社会ということもあり、症状や状況に応じた受け入れ体制の整備ができていいのか心配だ。【新丁三区区民会館】

当日の回答

消防・救急は仙南地域広域行政事務組合の事業ですが、ご意見については、大事なことなので、検討課題として注目していきます。

当局・議会回答

救急車の要請の通報を受けてから病院への収容までの平均時間は、43.6分となっています(仙南地域広域行政事務組合「平成27年消防統計」救急統計の概要より)。

救急車が救急患者の家に到着してからの作業として、救急救命士が患者の血圧、心電図、体温等を測定し、その情報を基に傷病の程度を確認して、その程度に応じた病院を探し、連絡を取るという流れがあるようです。

そのため、搬送先が決まるまでに一定の時間がかかるものと思われ

ます。市では、「夜間の急な病気やけがのとき」というタイトルで、夜間急患の場合の連絡の流れについて毎年6月に「広報かくだ」に掲載し、周知しております。

平成28年度も、かかりつけ医をもつことや救急のかかり方について周知する予定です。【健康推進課】

地域交通・デマンド乗り合いタクシーに関すること

意見・質問・要望等

人口増への対策として、通勤・通学時間帯の阿武隈急行の本数増を求めるなど、交通の便を向上させれば、特に仙台市への転出増を抑えられるのではないか。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

阿武隈急行の本数増がすぐさま転出増に歯止めがかかるかは分かりませんが、人口減少はもっと根が深い課題であると認識しています。故郷が廃れないように、ご家庭内での教育も含めて、郷土愛を育み、町を自分達の手で守り繋ぐ意識の醸成が必要であると考えています。

当局・議会回答

仙台駅への直接乗り入れ等については、以前、検討したところ、JR側で入り込める余裕がないことから難しい結果となっていました。沿線市町と共に、阿武隈急行のさらなる利便性の向上に取り組むほか、住宅取得支援補助(定住促進、角田・いらっしやいプラン)や子育て支援施策の充実など、あらゆる施策を講じて人口減少の抑制に努めていきます。【政策企画課】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

先日、道の駅の計画概要が配布されたが、市民に対しての説明が不十分ではないか。議会としてこの計画にどのように対応しているのか。【新丁三区区民会館】

当日の回答

市民の関心の高さを考えれば、もっと説明の機会を設け、市民の疑問や不安等に応える努力が必要と思われます。議会内にも様々な意見があり、議会報告会や角田市議会一般会議などでいただいた意見等を踏まえ、多くの質疑・要望・提言をしています。

地域経済に貢献できる計画となるよう、当局と議論している段階です。

当局・議会回答

議会との議論を尽くして、しかるべき段階で再度広報かくだ、JAや商工会と連携して、農業者及び商工業者の皆様からご意見を頂戴して取りまとめ、周知を図りたいと考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

中央公園の施設利用者は、震災後増加しており、年間20万人以上になっている。この人たちをどう迎えるかということも念頭に、道の駅を検討してもらいたい。【新丁三区区民会館】

当日の回答

もっともなご意見と思います。交流人口の拡大や産業振興など、地方創生に関する大枠の施策の一環としてとらえており、提言もその方向で行っています。

当局・議会回答

賑わいの交流拠点施設の集客数は、県道の交通量により約75万人(立寄り率は中間値を採用)としています。

この推計以外に、交通量(立寄り率最小)と中央公園利用者、近隣商圏からの購買客を合わせた集客数も推計しており、この場合は約72万人となっています。このうち、中央公園利用者は年間25万人のうち、約4割が立寄ることとして年間10万人と推計しており、中央公園の利用者は、重要な購買客と見ることができますので、中央公園利用者が喜ぶ施設運営もしていかなければならないと考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅に関する、議会からの85件の意見・提言などがすべてクリアすれば承認するということなのか。【新丁三区区民会館】

当日の回答

85件すべてクリアすることが承認条件という意味ではなく、議会や市民がどの程度理解し納得できるものか、というところが判断の基準になるものと思います。

当局・議会回答

着手前に全てをクリアすることは難しいこともあり、事業の準備段階、実施の過程においても、常に改善を行って、より良い状況で進めていきたいと考えています。

いずれのご意見も、道の駅を整備・運営していくのに必要なことでありますので、ご期待に応えられるよう努めます。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅に出品する農産物などは、農業の後継者不足の点から不安が残る。体制作りをよく検討してもらいたい。【新丁三区区民会館】

当日の回答

市の60代の農業者に対するアンケートによると、75%が10年後には離農、もしくは見通しが立たないと回答しています。商業の面でも、後継者の問題は、深刻な状況にあります。そのような現実を織り込みながら対処していきます。

当局・議会回答

農業だけでなく、商業との連携は不可欠ですので、連携体制の強化を図っていきたいと考えています。

また、いかにして街なかへ誘客を図るかについても、商工会、商店、飲食店等と検討をしていきます。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅を作って、果たしてどのようなメリットがあるのか。議員はどのように考えているのか。賛成するのか、反対するのか聞きたい。
個人のお客のみでなく、団体客、バスで来て食事をするなど、山元町の方が来ることを想定しているのだろうか。
市は調査していると思うが、その予算を他の事業に充ててはどうか。【中島区公民館】

当日の回答

現在、道の駅については検討中であり、議員個人の意見は控えさせていただきます。
議会としても市民の皆さんの意見を収集すべく、この議会報告会や角田市議会一般会議を開催し、平成28年1月に農業経営者会議の皆さんと、2月には商工会員の皆さんからご意見を伺い、総合的に判断したいと考えています。

当局・議会回答

賑わいの交流拠点施設に期待される効果として、「農業生産者の収入の増大」、「地域内発型産業の創出」、「体験型観光の推進による交流人口の増大」、「移住・定住に向けた情報発信の強化」、「中心市街地の活性化」、「角田中央公園利用者へのサービスの向上」などが考えられます。
県道角田山下線を通過する道路利用者、角田市や近隣市町(商圏)の住民、角田中央公園の利用者を集客ターゲットとして計画しています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅について、財政問題はどうか。最初から施設を大きく作り、赤字にさせるのではなく、最初は施設を小さく作り、徐々に増設していくようにしてはどうか。
また、個人・団体が参加できるようにしていくこと。利害関係はあると思うが、市民が盛り上がるような道の駅にすべきだと思う。【中島区公民館】

当日の回答

良い考えだと思います。そのような提案があったことを、当局に伝えます。

当局・議会回答

平成27年11月に議会に対して実施計画(案)で提示した事業費を含めて、今後の財政の見通しを示しています。
実施計画(案)では整備規模2.1ha、整備事業費11億円となっておりますが、財政調整基金は毎年10億円規模を維持し、市債残高も過去の水準を超えない見通しです。
ご意見のとおり、施設の活気は市民が参加していかなければ盛り上がりません。角田中央公園と併せて、市民のみなさんが憩える空間にしていきたいと考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅について、議会の全員協議会で説明を受け、全員協議会では了解したのか。それとも報告を受けただけということか。計画を作る段階で、市の審議会があり、市長の選んだブレーンで計画を作っていて、全員協議会で報告しただけで、一般市民には報告できていないのではないかと。一般市民も参加して計画するように議会からも伝えてほしい。道の駅を作ることが、市の活性化になるか分からない。【中島区公民館】

当日の回答

全員協議会で説明を受けました。説明の内容は、平成28年初めに広報と一緒に道の駅の概要が掲載されている資料が配られました。まだ決定ではなく、今後、議会報告会や一般会議を通じて、市民の皆さんのご意見を伺い、議会として総合的に判断していくようになると思います。

当局・議会回答

賑わいの交流拠点施設の単体だけで、地域活性化は図れませんが、地域活性化の一翼を担い、市民が集い、憩い、交流の場とすることで、交流人口を増やしていくことを目的の一つとしているほか、角田中央公園との連携により、中央公園利用者の利便性(飲食サービス)を図ることで、中央公園利用者の増大を図っていきます。計画については現在審議中であり、議会の承認をいただければ、再度広報かくだ等で周知を図っていきます。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

①道の駅だが、実際に、これでやっていけるのか。当初の計画では目玉がないので、温泉施設があっても良いのではないかと。これでやっていけるのかという不安がぬぐえない。議会でもっと詰めてほしい。平成27年11月16日の全員協議会で各議員から意見を述べたということだが、中味はなんだったのか。【北郷自治センター】
②道の駅に関して、黒字になるにはどうしたらいいか、先進事例をもっと調査すべきだ。例えば、温泉は人を呼ぶにはいい戦略で、もちぶた館の賑わいを見れば一目瞭然だと思う。アイデア次第で、どうにでもなると思う。それを考えるのが、行政であり議会ではないか。【中島下区民会館】

当日の回答

①平成27年3月から今日までの協議経過を説明。
温泉施設に関しては、財政背景などから削られました。直近の交通量調査を行うべきではとの指摘に関しては、国土交通省調査データの引用で可能とのことから、再実施はしないということです。
議会としては、本当にこれでやっていけるのか、何か特色を持たせたものという指摘をしていますが、現時点では賛否判断には至っていないのが現状です。
②議会としても、市民の皆様の意見を十二分に生かし、ベストの選択をしたいと考えています。なお、当局にも伝え、お互いに切磋琢磨して結論を出していきたいと思っております。

当局・議会回答

温浴施設は、集客に効果があることは認識しております。しかし、その整備費は掘削費用と施設整備を合わせると5億円以上の費用が必要で、この施設整備には補助制度がありませんので、市が整備するとなれば、全額市の負担となります。また、メンテナンス費用も高額であるため、かなりの財政負担になることが予想されますので、基本計画では、民間事業者の誘致を図りたいとしています。
民間事業者の進出には、周囲20キロ圏内の日帰り温泉として、亘理町・鳥の海温泉、大河原町・もち豚館いい湯、白石市・湯っぽがあり、角田市に整備するとしても、経営を維持できる利用客の確保ができるかどうかという視点もありますので、そう簡単にはいかないと考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅の整備計画を見たが、トイレや駐車場が減っているが大丈夫なのか。
特にトイレは、訪れる高齢者のことを考慮して増やすべきだ。【中島下区民会館】

当日の回答

規模が縮小したことから、減ったのだと思います。トイレの件については、担当課に伝えます。

当局・議会回答

駐車場の標準的な駐車マスは、隣接道路の交通量を基本に算定し、トイレは駐車マス数により算定します。
県道角田山元線の計画交通量を基本に駐車台数を算出すると、基準となる駐車台数は小型車75台、大型車4台ですが、整備区域内で最大限確保することとし、小型車117台、大型バス6台としており、トイレの数については、この駐車台数を基本として算定し、17人が同時利用できる規模として、男性9(大3、小6)、女性6(大6)、多目的トイレ1(大1)、授乳室1としています。
トイレの整備費は、建築物の箇所としては最も建築単価が高くなりますので、全体事業費を考慮しながら、基本設計段階で整備規模を検討したいと考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅は、防災機能も備えていると聞いているが、洪水により、阿武隈川が増水したらどうするのか。【中島下区民会館】

当日の回答

洪水時の避難場所には想定していません。洪水以外の災害の際に、消防団等の防災拠点等に利用する計画と聞いています。
なお、当局にも伝えます。

当局・議会回答

道の駅の防災機能は、避難所のような長期の避難滞在機能は考慮していません。
大雨や地震等の災害が発生した際には、道路利用者の一時的な避難場所、施設近隣の住民の一時避難場所、防災情報の提供、自衛隊や消防士等の救援活動拠点としての利用を想定しています。
ヘリコプターの離着陸については、総合体育館周辺は常設ヘリポートの条件を満たすことは困難なので、中央公園の多目的広場や芝生広場の使用を想定しています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅の計画案について、具体的な進捗が見えない。地元経営者の意見を積極的に聞くべきではないか。予算の積算についてもおかしい。工事費が、なぜ、あのように高額となるのか疑問だ。地元商工業者の力を借りながら早急に進めるべきだ。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

道の駅整備室に詳細且つ丁寧な説明を行うよう求めています。具体的な資料提出も併せて求めています。

当局・議会回答

公共工事には、民間工事と違って、適正な施行監理を行うための経費が契約額に含まれています。また、設計に用いる建設資材等は市場価格が採用されており、特に東日本大震災以後は、受注側の資材確保や人材確保のために価格が高騰し、現在は高止まりという状況にあります。
公共工事の受注には、市へ指名業者参加願いを提出していること等も条件となるので、地元商工業者も指名業者への登録をお願いします。
また、複数の個人事業者が連携して受注をする場合には、法人化されていることも必要となるので、そういった受注体制を整えていただくことも考慮していただきたいと思います。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

仮に道の駅が完成したとして、既存商店街活性化とどうリンクするのか。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

道の駅に商店街の商品を置くことが、活性化に繋がるとの当局説明です。しかし、果たして現実的かどうかは疑問を持っています。

当局・議会回答

まず、道の駅に商品を陳列し、販売することがお店や商品のPRになります。立寄り客は、各商店の自慢の品の存在は知りませんので、まずは周知させる必要があります。
その周知を行う場所として、道の駅を既存商店のアンテナショップとして利用してほしいと考えています。
道の駅では、各商店の自慢の品をPRしながら販売し、既存商店への誘客を行ったり、既存商店と連携して、スタンプラリーを行って、完走者にはポイントを差し上げ、満点になれば商品を提供するなどの集客イベントの計画などが必要と思われます。
具体的な対策は、商工会、商店街と連携しながら構築していくことが必要と考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅を作る是非から考えてほしい。計画にある売上高、来客者数とも現実的とは思えない。全国の道の駅の平均売上を上回る数値の根拠は何か。生鮮食品は他スーパーも扱っており競争にならない。帝国データバンク等の有益な民間データを活用するなどしているのか。実施計画が「計画」としての体をなしていない。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

実施計画にある数値は、期待も込めた数値ではないかと捉えています。道の駅の計画の是非も含めて、皆様のご意見を元に検討します。

当局・議会回答

このような施設の集客については、一般的には交通量を基本にした集客数を算定して、施設の必要規模を設定して設計をしています。本計画では、交通量から算出した集客数を年間75万人と推計しています。
交通量以外の算出方法として、次のような算出もしています。
整備区域は年間約25万人の利用者がいる角田中央公園という特異な立地でもあることから、道路交通量＋施設利用者＋周辺商圈の購買客という考え方で算出しても、年間約72万人の集客が可能と推計しています。
このことから、実施計画(案)で示した年間75万人という集客数は、不可能な数値ではないと考えています。
平均売上については、実施計画(案)で示した既往調査(平成18年)では全国平均が960円、県内の農産物直売所の購買単価(平成19年)は700円～1,250円で平均983円であるため、1,000円と設定しています。近年の調査では、購買単価が1,039円、売れ行きの良い商品単価は506円～577円という結果が出ており、実施計画で示した購買単価1,000円は妥当な金額設定と考えています。【道の駅整備

意見・質問・要望等

行政は予算を執行する立場であり、お金を産み出す機関ではない。角田市議会一般会議で農業経営者が産直運営に不安感を抱いているのになぜこだわるのか。その行政が道の駅の計画を進めるにあたり、民間の先を読む経営能力が必要であると思うがどうか。また既存施設との有機的な連携が見えない。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

皆様のご意見は貴重なものです。先般の角田市議会一般会議でいただいたご意見も尊重しながら議会としてしっかり検討していきます。

当局・議会回答

賑わいの交流拠点施設の整備は、平成23年に策定した第5次長期総合計画の重要プロジェクトの一つ「交流人口100万人への挑戦」を具体化する施策として位置付けています。

新しい施策に対する不安感があることは当然だと思いますが、何もしないまま現状を打開していくことはできないと考えています。

ご意見のように民間の先を読む経営能力は、今後の行政運営には必要と考えますので、諸計画の策定にあたっては、市民や民間事業者と連携しながら、進めていきたいと考えています。

既存施設との連携ではありますが、基本計画では隣接する角田中央公園との連携について、市民で構成したワークショップで提案されており、これらの提案については、道の駅機能施設で担っていくこととしています。

具体的な連携方法については、施設の管理者及び利用者等との意見交換を行い、実施に向けた検討を進めていきたいと考えています。【道の駅整備室】

意見・質問・要望等

- ①道の駅については、平成27年7月28日付けで、枝野・藤尾・東根・桜の地区振興協議会合同で陳情しています。改めてその文章を読み直してほしい。【枝野自治センター】
- ②賑わいの交流拠点について詳しく説明してほしい。【野田生活センター】
- ③道の駅について、議会がバラバラで進まないようだが、一致団結して進めてほしい。【藤尾自治センター】
- ④議会改選前には道の駅の建設に反対だと言っていたが、改選後はそうでもなさそうだ。今はまだ、分からないとのことだが、予算を通していても関わらず、分からないではおかしい。今まで何をしてきたのか。市長と一緒に進もうということなのか。まだ判断しかねるということなのか。【北郷自治センター】
- ⑤各論はともかく、総論として聞きたいが、賑わいの拠点整備計画のビジョンの中に、交流拠点整備などが行き着いたところに、道の駅という具体案があるということだと思う。このビジョンを議会は了解としたのか。そのものを議会は駄目だと言っているのか。【北郷自治センター】
- ⑥道の駅の建設について、議会は賛成なのか。【中島下区民会館】

当日の回答

- ①再読します。
- ②平成27年度の当初予算で議会に提出しましたが、議会で指摘した点を考慮し、当局は予算を撤回しました。それを見直したということで、また当初予算で提出してくると思われまます。
この件については、これまで指摘してきた点、また、角田市農業経営者会議との角田市議会一般会議で出された意見なども加え、議会としては、更に皆様の意見を聞いて判断していきます。
- ③道の駅については、現在、検討中です。議会報告会や一般会議を通じて、市民の皆さんのご意見を集約して、総合的に判断したいと考えています。
- ④用地買収には反対してきました。計画を検討し直し、再度示すよう申し入れました。平成27年11月にその検討結果が示され、施設的にも財政的にも縮小した形が出され、議会として検討を重ねているところです。今の時点で賛成反対は決定していません。
- ⑤当初の計画で5億円が15億円にもなっており、財政的懸念(今後の負担も含め)に加え、当初のコンパクトな構想からは大きく変容してきたことへの心配もあります。
- ⑥議会として結論は出していません。議会報告会などを通じて、市民の意見を聴取しているところです。

当局・議会回答

- 賑わいの交流拠点施設整備事業における本市議会の動きは次の通りです。
- 平成23年3月23日
地域資源や角田ブランドを活かしたおもてなしによる交流・連携や定住・促進を図ることを目的とした「交流人口100万人都市への挑戦」を重要プロジェクトの一つに掲げ、角田中央公園付近に「賑わいの交流拠点施設」の整備を位置付けした「角田市第5次長期総合計画基本構想について」を議決した。
 - 平成24年11月
角田市において賑わいの交流拠点施設の整備基本構想を策定された。
 - 平成25年5月31日
角田市議会全員協議会を開催し、当局より「賑わいの交流拠点施設

設整備基本構想等について」の説明がなされた。

●平成27年2月4日

角田市議会全員協議会を開催し、当局より「賑わいの交流拠点施設整備基本計画(案)の概要について」の説明がなされた。

●平成27年3月

角田市において賑わいの交流拠点施設整備基本計画を策定された。

●平成27年7月9日

角田市議会議長から角田市長に対し、「『第9回議会報告会』に係る市政に対する要望等について」書面により提出しており、この要望等のうち、「道の駅に関すること」については、当局に対し課題として次の3点

- ① 施設の管理運営に対する不安等について
- ② 地域産業(農業・商業・工業)の活性化策について
- ③ 将来に向けての財政計画の見通しについて

を提言していますが、市民並びに議会に対して説明不足のため、市民の不安がぬぐえない状況にあることから、説明機会を設けるよう要望した。

●平成27年7月24日

角田市長から角田市議会議長に対し、上記「①から③までの課題については、現在事項ごとに整理をしており、説明に関する事項の整理がつき次第、まずは議会に対する説明(全員協議会等)を行った後、ホームページや地区振興協議会等を通じて、市民への説明を行っていきたいと考えている」旨の回答があった。

●平成27年7月28日

「賑わいの交流拠点施設整備基本計画」の早期実現に関する陳情を枝野・藤尾・東根・桜地区振興協議会長より提出され受理。

●平成27年8月27日

陳情者に対して、角田市議会としては、いまだ角田市長から説明がされていない状況であり、また、議会としての正式な議論も行っていないことから、角田市長から説明を受けた後に、議会としての議論を尽くし、当該事業に対する結論を導いていきたいと考えている。このようなことから、「早期着工と計画通りの供用開始を要請する状況にはない」との結論に至るとの報告をした。

●平成27年11月16日

角田市議会全員協議会にて、「賑わいの交流拠点施設整備実施計画(案)」の概要について当局より説明を受けた。
(当該会議については、傍聴を許可するとともに、インターネットによるライブ配信を実施した。)

●平成28年1月15日

角田市農業経営者会議との角田市議会一般会議を開催した。
(当該会議は傍聴を許可した。)

議題:角田市の農業ビジョンについて

- (1) 未来を拓く角田の農業について
- (2) 賑わいの交流拠点施設整備実施計画(案)について

●平成28年2月16日

角田市議会議員協議会にて「『賑わいの交流拠点施設整備基本計画』の早期実現に関する陳情」を含む陳情書を全議員に配付した。

また、同日、角田市商工会との角田市議会一般会議を開催した。
(当該会議は傍聴を許可した。)

議題:(1) 角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における商工業の振興について

- (2) 賑わいの交流拠点施設整備実施計画(案)における商工業の振興について

- 平成28年2月19日
角田市議会第381回定例会(第1日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算(賑わいの交流拠点施設整備事業を含む)が上程される。
また、『「賑わいの交流拠点施設整備基本計画」の早期実現に関する陳情」を含む陳情書を当局に配付した。
 - 平成28年2月29日
角田市議会第381回定例会(第2日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算を予算審査特別委員会に付託した。
 - 平成28年3月3日
予算審査特別委員会(第2日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について、当局より趣旨説明を受け、質疑の後、小湊 毅議員より通告のあった「賑わいの交流拠点施設整備事業」について、議員間自由討議を実施した。
 - 平成28年3月4日
予算審査特別委員会(第3日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について、産業建設所管分(「賑わいの交流拠点施設整備事業」を含む)を予算審査特別委員会産業建設分科会に付託した。
 - 平成28年3月7日
予算審査特別委員会産業建設分科会において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算の中で「賑わいの交流拠点施設整備事業」について審査を行った。
 - 平成28年3月11日
予算審査特別委員会(第4日)において、平成28年3月7日に開催した予算審査特別委員会産業建設分科会の審査内容を産業建設分科会長が報告し、質疑を行った後、発議者 小湊 毅委員、賛成者 日下七郎委員ほか2人より、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算に対する修正動議(歳出7款1項5目賑わいの交流拠点施設整備費の12節役務費の手数料、13節委託料及び17節公有財産購入費の削除及びこの削除から派生する関連項目の予算額等を修正)が提出され、修正動議の説明、質疑、討論、表決を行い、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について、「原案のとおり可決すべきもの」と決した。
 - 平成28年3月16日
角田市議会第381回定例会(第6日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について予算審査特別委員会委員長報告の後、質疑、討論、表決を行い、「原案のとおり可決」(賛成13人、反対4人)した。
 - 平成28年3月29日
各地区振興協議会との角田市議会一般会議を開催した。(当該会議は傍聴を許可した。)
議題:(1) 角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における地域振興について
(2) 道の駅をはじめとする賑わいの交流拠点施設整備実施計画における地域振興について
-

道路に関すること

意見・質問・要望等

第9回議会報告会の結果を教えてください。No118土砂運搬事業者負担道路舗装工事、No119市道216号と市道1113号のT字路、No120市道1114号、No121市道1110号市道1111号については、どうなっているのか。【野田生活センター】

当日の回答

1カ所を除き、対応されていないのが現状です。市道は通常の通行量の範囲内であれば市が修繕費用を負担することになっています。現在の状況を当局に確認し、連絡します。

当局・議会回答

路面がわだちになっている箇所等、損傷がひどい部分については、部分的に修繕していきます。【土木課】

道路に関すること

意見・質問・要望等

野田の中道が非常に悪い。将来的には立派な道路になるのは分かるが、それまでの間、簡易な修復でいいので対応してもらえないのか。【野田生活センター】

当日の回答

当局に確認します。

当局・議会回答

路面のポットホール(アスファルト舗装面にできる局所的な穴)などについては、随時対応しています。また、路面の損傷のひどい部分は、部分的に修繕していきます。【土木課】

道路に関すること

意見・質問・要望等

道の駅には、観光バスの利用が多いようだが、福島県の梁川から丸森町までの国道が通行止めだった。福島からの観光客を角田市に誘導するには福島から角田経由で槻木までのバイパスが必要だと思うがどうか。【中島区公民館】

当日の回答

確かに幹線道路は必要だと思います。現在、部分的に工事が進んでいるところですが、今後の整備箇所について、国土交通省直轄で整備するよう要望しているようです。

当局・議会回答

ご指摘の箇所は国道349号の丸森町大張川張～耕野地区と思われる、宮城県の管理となっています。市としましても、その箇所の改良は重要であるとの認識から、「宮城県市長会」や「国道349号建設促進期成同盟会」を通じて要望しているところであり、現在、国の直轄権限代行事業として取り組めるよう宮城県の第1優先順位に位置づけされているところです。【土木課】

道路に関すること

意見・質問・要望等

協働のまちづくりについては、毎年、市役所の中で検証しているのか。その中で、高畑南から新中島北に通じる堤防下の道路の舗装化を毎年要望しているが、「グレーダーでの整地をします。」との回答に留まっている。できるか、できないかをはっきりと、区長に回答すべきだ。【中島下区民会館】

当日の回答

毎年検証しているかについては、確認したいと思います。なお、要望に対する回答については、要望として受け止め当局に伝えます。

当局・議会回答

各地区振興協議会の要望事業に対する検証につきましては、毎年、庁内で進捗管理を行っております。ご要望の場所は、現在要望事業にはなっておりません。

なお、堤防下の道路については、国土交通省の管理となっており、これまで舗装について管理者と協議を行ってきました。その結果、舗装することは可能とのことでしたので、今後は舗装する方向で進めていきたいと思っております。【土木課】

道路に関すること

意見・質問・要望等

コンビニエンスストアから中島上2号交差点(中島保育所付近で交通の往来が頻繁にある)付近が一部狭くなっている。以前、用地交渉の問題でとん挫したようだが、逆に言うと、協力した方々も多くいたはずで、その方々が気の毒になる。現時点で交渉すれば、いい方向に進む可能性もあると聞いている。署名が必要ならそれも一つの手段だと思うが、どうすればいいのか行政の方から指導していただきたい。そして早期拡幅を要望する。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

この道路については、以前に道路改良工事の計画があり、その際、用地補償の了解を得られず、現在に至っている経緯があります。現地箇所は建物もあり用地買収及び建物補償も必要となることから、早期の拡幅は難しい状況です。

道路に関すること

意見・質問・要望等

県道や国道のガードレールに、最近、茶色のものが増えてきた。従来の白色であれば視認性が良かったが、特に高齢者にとって茶色のガードレールは土の色と同化して見ずらくヒヤッとすることがある。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

降雪時に見やすいように茶色にしたとの情報もありますが、何故そうなったのか確認いたします。

当局・議会回答

茶色のガードレールの設置については、道路景観の向上を目的に国土交通省が取り組んでおり、主に国県道に設置されております。いただいたご意見については、管理者である土木事務所にお伝えいたしました。【土木課】

不法投棄・ごみに関すること

意見・質問・要望等

ごみ処理等対策調査特別委員会では、どんなことが話し合われているのか。ごみの分別が守られていなかったり(特にアパート関係)、地区外の人が置いていたり、どの地区でも対応に苦慮している。ごみ袋に排出者の名前を明記するよう、統一して義務付けをしてもらいたい。【新丁三区区民会館】

当日の回答

特別委員会は、(仮称)仙南クリーンセンター建設・運営についての議論をしていますが、ご意見も含め、常任委員会等で調査・研究をしながら、改善に向けて当局と協議をしていきたいと思っております。

当局・議会回答

ごみ処理等対策調査特別委員会は、議員回答のとおり、仙南2市7町の新しいごみ処理施設である(仮称)仙南クリーンセンターの建設場所・建設・運営について議論を行ってきました。平成29年4月供用開始を目指し、現在、仙南地域広域行政事務組合において建設中です。

また、ごみ袋への排出者の名前明記の件ですが、明記方法については、各行政区の実情に応じて取り組んでいただいております。ある行政区では、排出者を番号で管理し、ごみ袋に管理番号を明記し集積所に排出することにより違反ごみを減らしている事例もありますので、各行政区で、違反ごみがでないような取り組みを考えていただければと思います。【生活環境課】

意見・質問・要望等

放射能の測定は、現在どのようにになっているのか。除染した土はどうしているのか。【新丁三区区民会館】

当日の回答

現在は、月1回測定し、市のホームページなどに掲載しています。除染で出た土は、国が最終処分場を決めるまで、国のガイドラインに沿った形で一時保管しています。

当局・議会回答

1. 平成27年度における空間放射線量率の測定について
 - ① 毎月1回、市内小中学校、保育所及び児童館等
 - ※ 市のホームページへの掲載
 - ② 年2回(5月と11月)市内140ヵ所(1キロメッシュ)
 - ※ 市のホームページへの掲載・窓口に設置。平成27年11月の測定結果については、平成27年12月「広報かくだ」に掲載。

なお、保育所・学校給食センターで給食として提供している食材の放射能測定を行う計画測定や主に自家生産自家消費する食品等の住民持込みの放射能測定を行う一般測定も行っています。
2. 除染に伴った除却土壌について
角田市除染実施計画に基づき、現場保管しています。また、除却土壌の処分については、国から処分基準が示されることになっていますが、現在、国から処分基準が示されていないため、処分基準が示された後、検討していくことになります。
また、除却土壌を現場保管している場所は、定期的に空間放射線量率を測定しています。【生活環境課】

意見・質問・要望等

- ①異常気象が発生する中、災害に適した新しい阿武隈川洪水ハザードマップを早く作ってほしい。それに基づき、高台の無い枝野地区の避難場所、避難経路を考え直すべきではないか。【枝野自治センター】
- ②桜地区は、阿武隈川の近くで、堤防決壊が心配だ。この地区は、避難場所が台山公園である。決壊した場合、逃げようがない。堤防が完成形態になっていない。避難方法、堤防を見直してほしい。【桜自治センター】
- ③防災情報の周知方法に関して、継続調査事項(4)の水害時のハザードマップ作成及び避難場所・避難経路等の市民への公表が重要と考える。それらを含めた総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)を早急に作成し、平成27年度中の配布を目標に進めてほしい。【中島下区民会館】

当日の回答

- ①ハザードマップは、現在、国土交通省において作成中で、平成28年中には配布できる予定です。非難所は枝野小学校が予定されております。早い非難が最善であり避難所の早期開設、迅速かつ正確な情報の提供できるよう今後も協議していきます。
- ②要望として、担当課にお伝えします。
- ③議会としても、総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)早期作成が必須と考えています。要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

洪水ハザードマップについては、国土交通省が現在、見直し中の浸水想定区域図を作成しています。浸水想定区域図の完成(公表)は平成28年度の出水期頃を予定しているとのことなので、その区域図を基に地区民の皆様の意見を聞いた上で、当市に合った洪水ハザードマップを作成したいと思っておりますので、平成28年度末ぐらいに各家庭に配布できると考えています。

枝野4・5・6区や桜地区等は、阿武隈川に近く、また高台が近くにないことから水害に対しては特に注意し、他地区よりも早めの避難行動をとる必要があります。避難経路についてもそれぞれの家によって通れる道、通れない道が水位によって違ってきますので、自分で調べ2～3路線を計画しておくことも大切かと思っております。できれば同じ地形、地域に住んでいる方々で計画を作ってみてはどうでしょうか。その計画を自主防災組織の中で活用することができればより良い計画となると考えています。【防災安全課】

意見・質問・要望等

災害時や防災関連の情報伝達手段として、ラジオの利用を考えてもらいたい。【新丁三区区民会館】

当日の回答

災害時に自動的にスイッチがオンになる防災ラジオを取り入れている自治体もあり、議会でも視察していますが、かなりの予算が必要であることから、実現には時間がかかると思っています。

当局・議会回答

岩沼市が株式会社エフエムいわぬまと「緊急放送協定」を締結し、防災ラジオを開局しています。これを開局するためには、緊急放送との連携システムの構築、そして新たにFM局を開局することが必要となります。これには放送局開設費用、資機材整備費用等、さらにアナウンサー、スタッフの人的費用及び放送局の運営、維持管理費等に多額の費用がかかることから現時点では防災ラジオの整備は難しいと考えています。【防災安全課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨の際、宮城県全体で特別警報が発令された。これに対しどのような措置をしたのか。小田川が冠水し通行止めになったが、情報提供がなかった。【野田生活センター】

当日の回答

安全・安心メールに登録している方には連絡が届きます。今のところ、個々人に届く方法はありません。
角田市として危険箇所を掌握しており、消防団や区長さん方と協力して、早めに連絡するようにしています。

当局・議会回答

大雨特別警報とは数十年に一度の大雨となる恐れが大きく重大な被害が起こる可能性が高まる時に発表となります。
当時、大雨特別警報がはじめて発表となりましたが幸いにして、当市は小田川で避難判断水位まで、阿武隈川では氾濫注意水位まで上がりましたが、それ以上上昇しませんでした。野田地区等に避難勧告を発令し、その他の地区には避難準備情報を発令しました。
伝達方法としては、夜間でしたが「広報車による広報活動」、「一部戸別訪問による広報」、「安全・安心メール」、「市のホームページ」、「緊急速報メール」、「区長へ電話連絡」等による広報活動並びに12施設の避難所を開設した結果、236人が避難してきました。
冠水による道路の通行止めについては、市内の多くの箇所で発生することから、最初に通行止め標識の設置を行います。市ホームページへの掲載は少し時間がかかりますが、今後改善をしていきたいと考えています。【防災安全課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨の際、野田地区には広報車が回ったが、鱸沼の地域は回っていない。野田地区住民は避難をしたが、鱸沼の方は分からなかった。【野田生活センター】

当日の回答

個別に安全確認しながら、広く知らせることが必要だと思いますが、どのようにお知らせするかを住民の皆様の意見を聞きながら、当局に要望していきます。

当局・議会回答

市広報車による広報活動としては、4つに班編制をし、町田、野田前、長瀬、鱸沼地区を戸別訪問により広報を行いました。もし回っていないとのことでしたら、抜けた可能性があります。または、道路が冠水し住宅まで行くことができなかつたのかもしれない。しかし、できる限りの広報活動を行いました。
今後、広報には万全を期するよう努力いたします。【防災安全課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨の際に小田川が増水し、大原堤防を越水した。今後、同じような大雨が降った際、市街地に流入する恐れがあるので対応してほしい。【中島区公民館】

当日の回答

調査して対応するように、当局へ要望します。

当局・議会回答

当該地区は、宮城県が管理する小田川からの越水により地域の水田が浸水する箇所です。当該豪雨時には大原堤防と言われる箇所からの越水がありました。
将来、過去を上回る大雨が降った場合に危惧されるのが、内水と小田川からの越水により水田へ浸水し、さらにそこから市道大沼西堤防線への越水、そして破堤による大原地区への流入です。さらにそれが進めば角田字館下・南地内等の市街地における洪水の発生が危惧されます。市といたしましても、この問題を重く受け止め宮城県や関係課等と協議検討を更に進めたいと考えています。
今後の大雨時の対応としては、パトロールを強化し、異常があれば早期対応を講じます。【防災安全課】

意見・質問・要望等

①総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)作成に際し、避難場所を行政区単位で指定(例えば、高畑南は角田高校など)してほしい。
また、土砂崩れの恐れのある場所は避けること。トイレ等の問題など、きめ細かな配慮が必要だ。【中島下区民会館】

②新中島南・新中島北・中島下・高畑南地区の避難場所は、旧角田女子高が最適と考える。県と協議して是非とも認めてもらえるように要望する。【中島下区民会館】

当日の回答

①要望として受け止め、担当課に伝えます。

②阿武隈川沿いの地区については、水害問題が最重要と思っています。議会としても検討しながら、当局に要請していきたいと思えます。

当局・議会回答

避難所等の選定について、貴重なご意見ありがとうございます。各行政区単位、場合によっては地区単位でそれぞれに適した避難所等を選定しなければならないと考えています。角田地区、桜地区、北郷の一部地区、枝野の一部地区においては、大規模な洪水や地震発生時には一時期に1万人以上の避難者が出ることも予想されますので、台山公園や神次郎運動公園の2カ所では対応できません。大変難しい問題ですので、今後それぞれの地区の方々と市と関係機関等で協議し、各地区に適した避難経路と避難所等を決めたいと考えています。

ご承知のとおり、旧角田女子高は、東日本大震災時には重要な業務のため使用されました。しかし、避難所として整備するにはいろいろ問題があります。耐震性の問題、内装の改修、管理等を改善しなければなりませんので、市としては同地区の皆さんの避難所等を別の所に考えています。

ご指摘のとおり避難所等の開設にあたっては、二次災害の危険性のない所を選定しなければなりません。また、現在小・中学校や自治センターに防災倉庫、非常用資機材及び非常用トイレ等の設置・整備を進めています。【防災安全課】

意見・質問・要望等

かくだ田園ホールなど、箱物を作る際は水害などに備えるためのヘリポートの設置や、ゴムボートの準備など、きめ細かな対応が必要だ。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

ヘリポートの設置については、市民センター改修工事の設計段階から計画には入っていませんでした。建物の屋上にヘリポートを建設するとなると建物の主要構造部を強化したり、周辺の高い建物や樹木等も考慮しなければならないと思われます。県内の状況としては、避難所となる市民センター等とヘリポートを兼ね添えた施設は見当たりません。その理由は、建設工事費やヘリコプターの離着陸における規制等があるため採用されていないと推察します。

当市には現在指定ヘリポートとして、多目的運動場及び仙台河川国道事務所角田出張所になっています。

ゴムボートの配備については、以前に議員からもボートの配備要望等がありましたが、現時点ではその整備計画はありません。理由としては、堤防が決壊し濁流が流入した時にゴムボートやボート等での救出及び搬送は極めて危険な作業となります。船外機をボートに取付け操作する場合は、船外機の免許も必要であり、また日頃の操作訓練をしなければ、異常出水時の操作は大変難しく二次災害の発生が危惧されます。市としては、そのような事態が発生した場合、消防署又は自衛隊船岡駐屯地へ出動要請し救助等を求めます。船岡駐屯地には50艘ぐらいの船外機付ボートを所有しています。

市役所の防災倉庫には毛布、備蓄用食料、紙おむつ等を保管してあります。【防災安全課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

広報かくだの平成27年10月号の市長日誌に、平成27年9月関東・東北豪雨により避難準備情報が発令され、市民センターに避難者22人とあるが、市民センターは水害の避難場所に指定されていないはずだが、それでいいのか。【中島下区民会館】

当日の回答

持ち帰り、担当課に伝えます。

当局・議会回答

ご指摘のとおり、平成26年3月に作成した角田市地域防災計画では浸水想定区域内にある避難所等については水害時の避難先としては入れてありませんでした。

その後、浸水想定区域外にある避難所等の数が少ないことから、計画が一部見直され、降雨量や浸水状況により浸水想定区域内にある避難所等も使用することとしました。

今回の水害時は、避難人数が少ないことが予想されました。また、大雨特別警報が県内に発表になりましたが、当市の降雨量と河川水位が危機的状況でなかったことから、畳の部屋があり、暖房も使用できる市民センターや自治センター等を避難所として開設し、収容しました。

当然、降雨量、水位が上昇し、その避難所が危なくなる場合には浸水想定区域外の別の避難所等への移動も考える必要があります。【防災安全課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

各行政区における防災訓練において、AEDの訓練もしていると思うが、要請のある行政区に対してAEDの購入又はレンタルに対して、例えば半額を助成するなどの措置を講じられないか。いざ必要となった際に、公民館にあれば有事に迅速な対応ができる。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

現在、市内のAEDの設置箇所については、利用者の多い市民センター、各自治センター、小・中学校等の公共施設を主に設置されています。

行政区公民館については、常時開錠されている施設ではありませんが、AEDが設置されていれば、近くで心肺停止になった方に対して少しでも早い対応ができるのではないかと思います。

しかしながら、AED設置後の維持管理として、消耗品(パット、バッテリー等)については、3～5年程度の有効期限があり、定期的な交換が必要となります(交換には数万円かかる)。

また、心肺蘇生法が5年ごとに改正となるため、AEDの操作方法も変わることがあります。

以上のことから、AEDの購入またはレンタルに関して市から助成金等を支出することは考えておりません。

なお、個人向けの救命講習会は、毎月第4土曜日に仙南地域広域行政事務組合の3消防署(大河原・白石・角田)の持ち回りで実施しています。また、角田市内では、事業所、婦人防火クラブ等の団体から角田消防署に依頼があれば、実施しているようです。【健康推進課】

保育施設等への導入を含め、今後関係課と協議・調整していきたいと思っております。【子育て支援課】

意見・質問・要望等

雇用促進住宅周辺に野良猫が多いので対応してほしい。住人のある方が、餌付けをしているようだ。
また、東町の氏家歯科医院周辺にも多くの野良猫が住みついている。【中島区公民館】

当日の回答

餌付けをしている方が分かれば、餌をやらないでほしいとお願いできるので、当局に要請します。

当局・議会回答

猫の飼養については飼い猫、野良猫の区別が難しいこともあり、飼い主には室内飼いをお願いしています。無責任な餌付けをしている方がきちんと分かれば、当課や仙南保健所で直接本人に注意しております。なお、東町の氏家歯科医院周辺の件については、平成27年10月に仙南保健所と一緒に餌付け者に対し注意指導を行っています。【生活環境課】